

2026年(令和8年)8月31日 月曜日

熊本被災地支援へ108万円

豊岡市医師会が市を通じ義援金贈る



熊本地震の義援金を豊岡市の門間雄司市長(右)に手渡す同市医師会の安田和人会長＝豊岡市中央町

熊本地震の被災地支援に役立ててもらおうと、豊岡市医師会(豊岡市城南町)は、同市に義援金108万円を寄付した。

同会には市内の開業医ら約60人が所属する。2011年の東日本大震災と16年の熊本地震、24年の能登半島地震発生時も市を通じて寄付した。今回は会員に約2週間呼びかけ、有志34人が協力した。

同会の安田和人会長(60)

は「大災害があると会員から支援しようという声が上がっている」とした。

門間雄司市長は、災害関連死の認定に必要な自治体の審査会の規定整備を検討する考えを示して「情報共有も含めて協力を」と呼びかけた。

義援金は、豊岡市が市役所などに設置している募金箱の寄付金とともに日本赤十字社を通じて被災自治体に贈る。(吉田みなみ)